

2012年度受託研究概要報告

播州織ファッション特区事業

研究メンバー

野口正孝 デザイン学部ビジュアルデザイン学科教授

委託者

西脇商工会議所

研究概要

1. 西脇中心市街地の活性化と地場産業である播州織の振興を目的として「播州織工房館」を核にした活動を行う。
2. 西脇市出身のアーティストであるトータス松本氏とコラボレーションして「n+able」ブランドでワークパンツの関連商品の開発・提案を行う。
3. NHK大河ドラマ「龍馬伝」に使われた袴の生地を用いて作られた「龍馬ジーンズ」の関連商品の開発を行う。
4. 播州織工房館を地域のコミュニティーの場にするためのイベントの企画、運営を行う。

研究成果

産官学連携ブランド「n+able」の商品として西脇市出身のアーティストであるトータス松本氏とコラボレーションによるカーゴパンツの生地を使った関連グッズの開発、提案を行った。本年度は開発した「Harima "o"」トータス松本×播州織コラボハットは、トータス松本の野外ライブ等で販売された。

2010年度の受託研究で播州織の産元商社と協同開発し、NHK大河ドラマ「龍馬伝」で主人公が着用した袴の生地（ヒッコリー）を用いて制作した「龍馬ジーンズ」の関連商品として龍馬が脱藩するときに持っていたことをイメージにした「脱藩バッグ」を開発・提案を行った。

播州織工房館を地域のコミュニティーの場に、西脇中心市街地の活性化を図ることを目的として、「七夕ゆかた祭り」や中心市街地商店街のお祭りである「セントラルカーニバル」と一体となった「まちななかギャラリー」のイベントの企画、運営を行った。また、播州織の活性化を目的として「へその西脇・織物祭り」に参加し、播州織を用いた作品を制作し、ファッションショー「HESOCOLE」に参加した。



写真1 脱藩バックの試作品



写真2 七夕ゆかたまつり



写真3 ファッションショー「HESOCOLE」